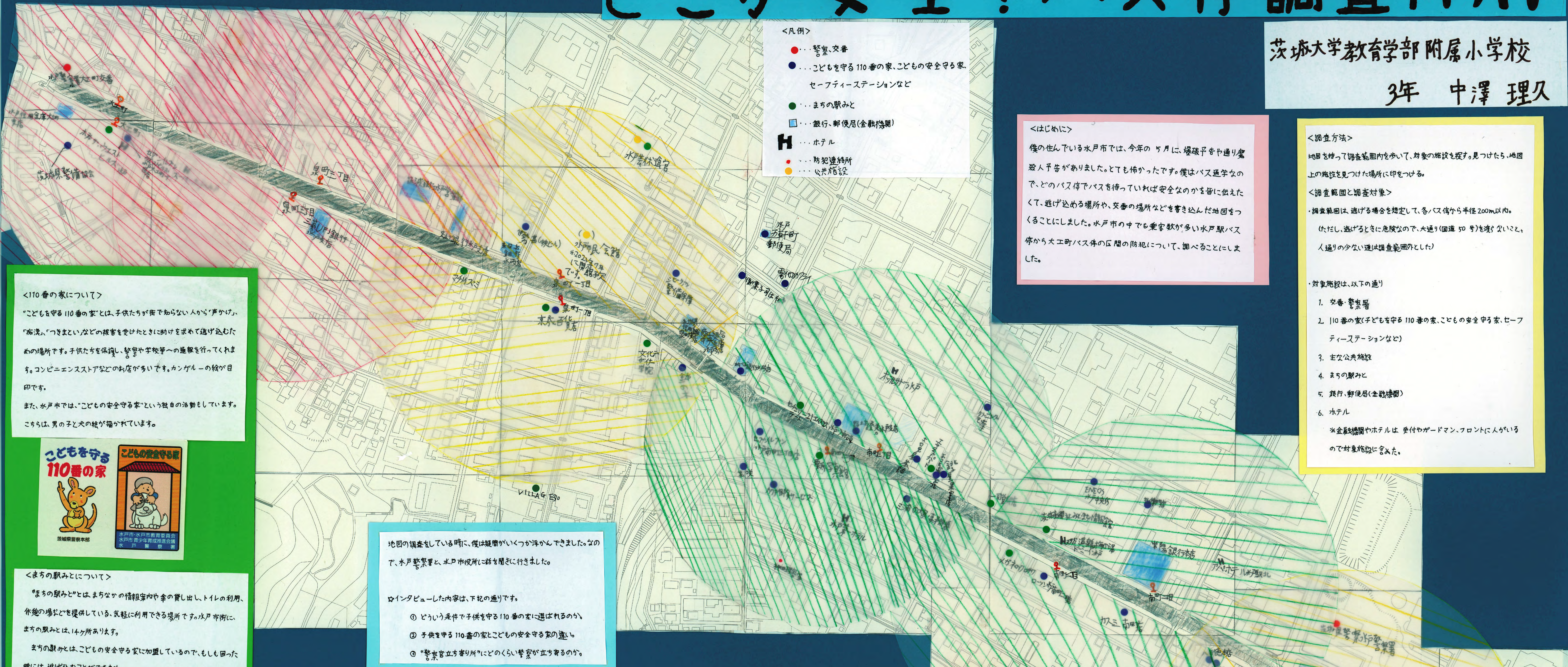


どこが安全？バス停調査MAP

茨城大学教育学部附属小学校
3年 中澤 理久



- <凡例>
- 警察、交番
 - 子どもの安全を守る110番の家、子どもの安全を守る家、セーフティステーションなど
 - まちの駅みと
 - 銀行、郵便局(金融機関)
 - H ホテル
 - 防犯連絡所
 - 公共施設

<はじめに>

僕の住んでいる水戸市では、今年の5月に、爆弾予告や通り魔殺人予告がありました。とても怖かったです。僕はバス通学なので、どのバス停でバスを待ってれば安全なのかを昔に比べて、逃げ込める場所や、交番の場所などを書き込んだ地図を作りました。水戸市の中でも乗客数が多い水戸駅バス停から大工町バス停の区間の防犯について、調べました。

<調査方法>

地図を持って調査範囲内を歩いて、対象の施設を探す。見つけたら、地図上の施設を見つけた場所に印をつける。

<調査範囲と調査対象>

- 調査範囲は、逃げる場合を想定して、各バス停から半径200m以内。(ただし、逃げるときに危険なので、大通り(国道50号)を避けること、人通りの少ない道は調査範囲外とした)

対象施設は、以下の通り

1. 交番・警察署
2. 110番の家(子どもを守る110番の家、子どもの安全を守る家、セーフティステーションなど)
3. 主要公共施設
4. まちの駅みと
5. 銀行、郵便局(金融機関)
6. ホテル

*金融機関やホテルは、受付やガードマン、フロントに人がいるので対象施設に含めた。

<110番の家について>

「子どもを守る110番の家」とは、子供たちが街で知らない人から「声かけ」、「痴漢」、「つきまとい」などの被害を受けたときに助けを求めて逃げ込むための場所です。子供たちを保護し、警察や学校等への通報を行います。コンビニエンスストアなどのお店が多いです。カンガルーの絵が目印です。

また、水戸市では、「子どもの安全を守る家」という独自の活動もしています。こちらは、男の子と犬の絵が描かれています。



<まちの駅みとについて>

「まちの駅みと」とは、まちなかの情報案内や傘の貸し出し、トイレの利用、休憩の場などを提供している、気軽に利用できる場所です。水戸市街に、まちの駅みとは、14ヶ所あります。

まちの駅みとは、子どもの安全を守る家に加わっているのも、困った時には、逃げ込むことができます。

地図の調査をしている時に、僕は疑問がいくつか湧きました。なので、水戸警察署と、水戸市役所に話を聞きに行きました。

インタビューした内容は、下記の通りです。

- ① どういう条件で子供を守る110番の家には選ばれるの？
- ② 子供を守る110番の家と子どもの安全を守る家の違い
- ③ 「警察官立ち寄り所」にどのくらい警察が立ち寄るの？

☆水戸警察署・生活安全課生活安全係長の伊野警部補が答えてくれました。

- ① 110番の家になる条件
 - ・県内に2箇所以上事業所(店舗)を所有している場合
 - ・県内の全事業所に110番の家を設置し、店舗が建物の1階部にある事。
 - ・県内に2箇所以上事業所(店舗)を所有していない場合
 - ・2台以上の車を110番の家として運用する事。
- ② 110番の家は、個人のお家と企業で管理が違います。個人の家の場合は、登録は学校単位で行うので、水戸市役所が管理しています。ただし、企業の場合は、警察で登録を行っています。110番の家も、子どもの安全を守る家と違いはありません。絵が違っただけで、内容は同じです。また、会社によって違う絵柄になっている場合もありますが、全て110番の家としての違いはありません。
- ③ 「警察官立ち寄り所」は、実は警察の管轄ではありません。その代わりに、防犯連絡所という警察が立ち寄る場所があります。水戸警察署と、防犯ボランティア団体である水戸地区防犯協会が活動しています。

また、ボランティアの自警団も水戸にはあり、よく通学路などに立ち回っているので、困った時には助けを求めることができます。

☆水戸市役所・生涯学習課の担当者の方が答えてくれました。

- ① 青少年育成会の人達がお店やお家などに呼びかけて登録してもらっています。また、市報・広報を見た人が連絡をくれたりもします。特別な資格や条件はありませんが、日中留守にしがちなお家やマンション・アパートなどは登録できない場合があります。
- ② 水戸市が茨城県警察よりも早く始めたため、水戸市独自の子どもを守る家という活動になっています。基本は同じですが、警察や救急車を呼んでもらったり、学校や家庭に連絡などもできます。令和元年の子どもの安全を守る家の受け入れ状況として一番多かったのは、トイレ併用でしたが、交通事故や迷子、窃盗や買物から逃げた子供もいました。

また、水戸市では、包括連携協定企業と結んでおり、子どもの安全を守る活動に協力してくれています。セブンイレブンや郵便局などの企業があります。

<僕の考えた安全なバス停ランキング>

★ランキングの条件

- 警察署、交番... 5ポイント
- 110番の家、まちの駅... 3ポイント
- 公共施設、金融機関、ホテル... 1ポイント
- *銀行が110番の家を実施している場合などは、ポイントが高い方が加算

	●	●	●	●	H	■	合計
水戸駅	●●	●●●●	●●●●	●●●●	H	■	27
金谷坂	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	H	H	32
南町三丁目	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	H	■	38
南町二丁目	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	H	■	54
泉町三丁目	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	(●)	■	33
泉町二丁目	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	H	■	10
大工町	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	H	■	16

<まとめ>

今回の地図作りを通して、水戸市街では大通りに面しているお店に110番の家やまちの駅などの逃げ込める場所が多いことがわかりました。また、水戸駅の周りは警察署や交番があり、人通りが多いため安全に感じました。その反面、路地に入ると人通りも少なく、逃げ込める場所も少なかったため、危ない時に逃げる場所を考えなければならぬと思いました。安全なバス停、危険なバス停を考えたバスを一緒に利用していきましょう。

<出典・参考資料>

地図:ゼンリン「まちたんけん」より

茨城県警察 子どもを守る110番の家(茨城県警察HP)
https://www.pref.ibaraki.jp/kenkei/a01_safety/child/110house.html

まちの駅みとパンフレット(まちの駅みとネットワーク協議会)

子供の安全を守る家チラシ(水戸市生涯学習課)

